

【次世代育成】重慶伊藤忠—「晚安寶貝(いい子だね、おやすみ)」農村の児童支援活動

2019年7月、重慶伊藤忠では社員たちが、農村の子どもたちに対する教育などを行っている公益団体「歌路營」の、WeChatオフィシャルアカウント「晚安寶貝」(父母と別れて暮らす農村の児童たちが、夜安心して眠れるように、30秒間のおやすみのあいさつを録音する活動)に参加しました。現代版千夜一夜物語のように、色々な言葉や話を子供たちの耳もとへ語り掛けることで、我々の温かみ・思いやりの気持ちを届けることができました。愛情の溢れる環境下で育つことにより、大人に成長してから、きっと他人を愛することに繋がると信じています。



「晚安宝贝」で社員たちが録音した画面



【次世代育成】広州伊藤忠一華景小学校で、ゴミの分類に関する講座を実施

2019年11月、広州伊藤忠の社員たちは、広州市の名門公立小学校である華景小学校を訪問し、環境保護に関する授業を行いました。子供たちの授業態度は大変に真面目で、熱心に授業を聴講し、且つ積極的に質疑応答に参加している様子を目の当たりにし、我々社員も大いに刺激を受けるとともに、子供たちの環境保護への関心の高さに深い感銘を受けました。ゴミの分類は広州ではまだ徹底されていない地域もありますが、子供たちが早期からゴミの分類に関して深く理解することで、今後の中国における、また世界における環境保護強化に繋がるものと思います。伊藤忠中国においてもゴミの分類に関するEラーニングを全社員に実施するなど、環境に対する意識を高めております。今後も同様の機会を作り、多くの子供たちに環境保護の重要性を伝えていきたいと思っております。





【次世代育成】北京伊藤忠-幕天公益-書物寄付活動

伊藤忠中国の社会貢献活動方針「次世代育成」に基づき、農村に住む
少年少女向けに書籍寄付活動を行いました。
今回我々が参加した「幕天公益」(2013年に100社近くの企業が共同で
設立したチャリティー団体)の書籍寄付活動は、「効率的かつ専門的に
社会のリソースを活用して、農村部の少年少女たちにより多くの良書を
読んでもらう」ことを使命とし、子供たちが精神的にも成長し、都市・農
村間の文化的格差を縮め、将来に向けて多様な選択肢を持てるよう
にすることを目的として活動しています。
勉強する環境があまり整っていない農村地域の子供たちが、これら書
籍の提供を通じて、知識を身に付け、成長していくことを信じています。



【次世代育成】上海伊藤忠—新地主催「階段垂直チャリティーマラソン (疾病のある貧困児童支援)」へ参加

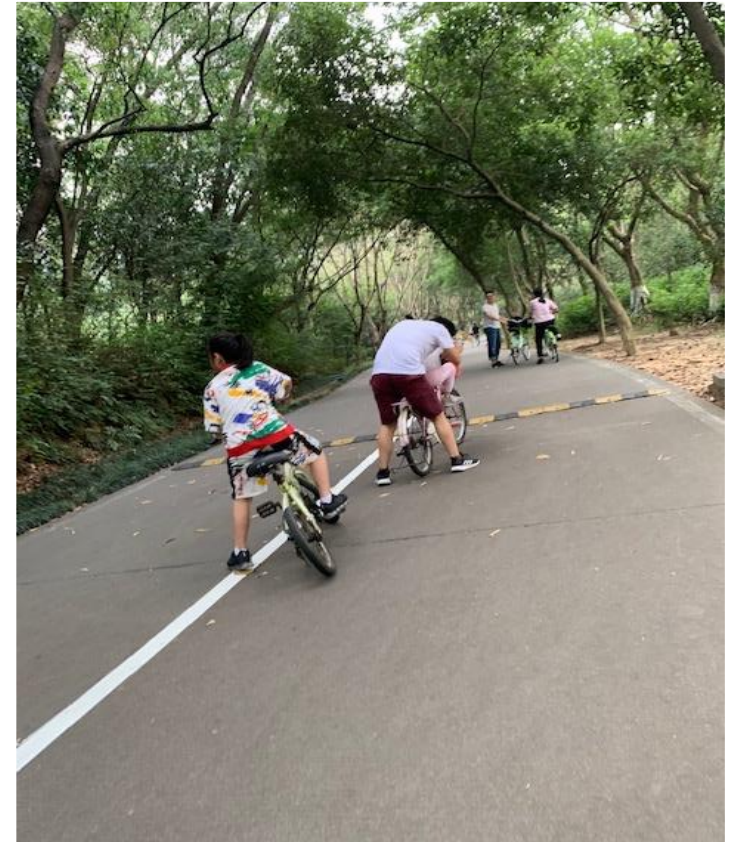
香港最大の不動産デベロッパー、新鴻基地産発展有限公司(新地)の主催する「階段垂直チャリティーマラソン」に参加しました。このイベントの参加費用は全額、上海児童健康基金会へ寄付され、上海児童医学センターの、疾病のある貧困児童の治療に用いられます。上海伊藤忠の社員たちは親子連れでこのマラソンに挑戦し、上海国際金融センタービルの階段をみんな声掛け合いながら駆け上がりました。体力的には少しハードなイベントではありましたが、ゴールした時には社員もみな達成感に満ち溢れており、且つ、チャリティーの目的である貧困児童支援にも貢献できたと思っております。今後も色々な形で次世代育成に向けた支援を実施していきたいと思っております。



【環境保全】広州伊藤忠一秋の大夫山サイクリング活動

2019年10月、空気が澄み切った心地の良い秋の日、広州伊藤忠は「秋の大夫山サイクリング」活動を行いました。フィットネスアプリを使って総走行キロ数を記録し、節約できた二酸化炭素の排出量を算出、この節約量の最も多い参加者が優勝するというものです（走行記録時間は1時間）。社員の走行結果を測定し、走行1キロあたりに節約できる二酸化炭素排出量は、約128gであることが分かりました。1日単位で見ると少ない量ですが、毎日少しずつ積み重ねていくことで、環境保護に貢献できると言えるでしょう。

今回のサイクリング活動を通して、社員は日常業務のストレスから解放され、心身ともに健康増進を図ると同時に、省エネルギーとCO2排出削減に貢献することができました。今後も今回のような環境保護を意識できるようなイベントを企画し、社員の関心を高め、また持続させることを期待したいと思います。



【環境保全】広州伊藤忠一環境週間「健康に暮らし、エコに努める」

2019年7月、広州伊藤忠で何年にも亘り実施している「環境週間」が本年も始まりました。本年も以下のように内容豊かなイベント週間でした。

- ①公共交通機関を利用または徒歩による外出を推奨。
- ②社内でミニフィットネス教室を開き、勤務終了後にフィットネスを通じて心身をリラックス。
- ③午後にフルーツとお茶を楽しみ、栄養のバランスを整え健康を増進。
- ④社内フリーマーケットを開催し、社員同士で長期間使用していない物品を交換し、再利用。
- ⑤毎日環境保護関連の豆知識を社員宛にメールで連絡。

「健康に暮らし、エコに努める」という本活動の主旨を社員にきちんと理解してもらい、本年度も積極的に参加してもらいました。社員全員が環境保全を意識し、かつ努めることを十分に達成できたイベントであったと考えています。



(左) フィットネス教室

(右) 社内フリーマーケット





【環境保全】ゴミ清掃、環境保護

みんなが暮らす地域環境を継続的に良くするために、伊藤忠中国では様々な形でゴミ拾い活動を行ってきました。同活動は、自分たちが暮らす地域環境を美化するのみならず、社員に地球環境保護の精神を意識してもらい、また伊藤忠の企業文化を社会に示す取り組みになっていると考えています。

◆青島伊藤忠-海岸でのゴミ清掃

2017

◆青島伊藤忠-嶗山区北九水でのゴミ清掃
◆伊藤忠中国-南京市紫金山でのゴミ清掃

2019

2018

◆青島伊藤忠-威海海岸でのゴミ清掃
◆広州伊藤忠-增城市白水寨でのゴミ清掃

【環境保全】伊藤忠中国CSRチームー南京市紫金山でのゴミ清掃

伊藤忠商事の社会貢献活動の基本方針は、次世代の育成と環境保護、そして地域貢献です。伊藤忠中国においても本社のCSR方針を推進するべく、伊藤忠中国CSRチーム交流会開催に合わせ、2019年7月28日に、香月経営企画グループ長と趙同グループ長代行とともに中国全土からのCSR責任者・担当者が、南京の紫金山でゴミ拾清掃による社会貢献活動を行いました。当日は37℃の猛暑でしたが、山道に捨てられた包装ゴミやポリ袋、ペットボトル、吸い殻、紙くずなどのゴミを、メンバーで協力しながら清掃しました。参加した15名の社員はまるで山奥の「スマーフ」(ベルギーの漫画家のピエール・クリフォールの漫画の中に登場する青い肌の妖精)のように、全員「一人為商 使命無限(=ひとりの商人、無数の使命)」と印字された伊藤忠専用の青色のTシャツを着用し、丁寧に山道の隅々まで清掃しました。ゴミ清掃は2時間程度に及びましたが、清掃し終わった後の山道にはゴミは無く、たくさんの大きなゴミ袋のみが残り、達成感に満たされ、全員明るい笑顔になったのが印象的です。「善の小なることを以て為さざること勿れ」(三国志)という言葉があります。今回の2時間のゴミ清掃活動が環境保護に与えた影響は小さいかもしれませんが、伊藤忠中国全社員に対しても環境保護の重要性を伝えることができた意義ある活動だったと考えています。CSRチームの一員として、今後もより多くの有意義な社会貢献活動を企画し、CSRの理念が伊藤忠中国の全社員に伝わるように尽力していきたいと思ひます。





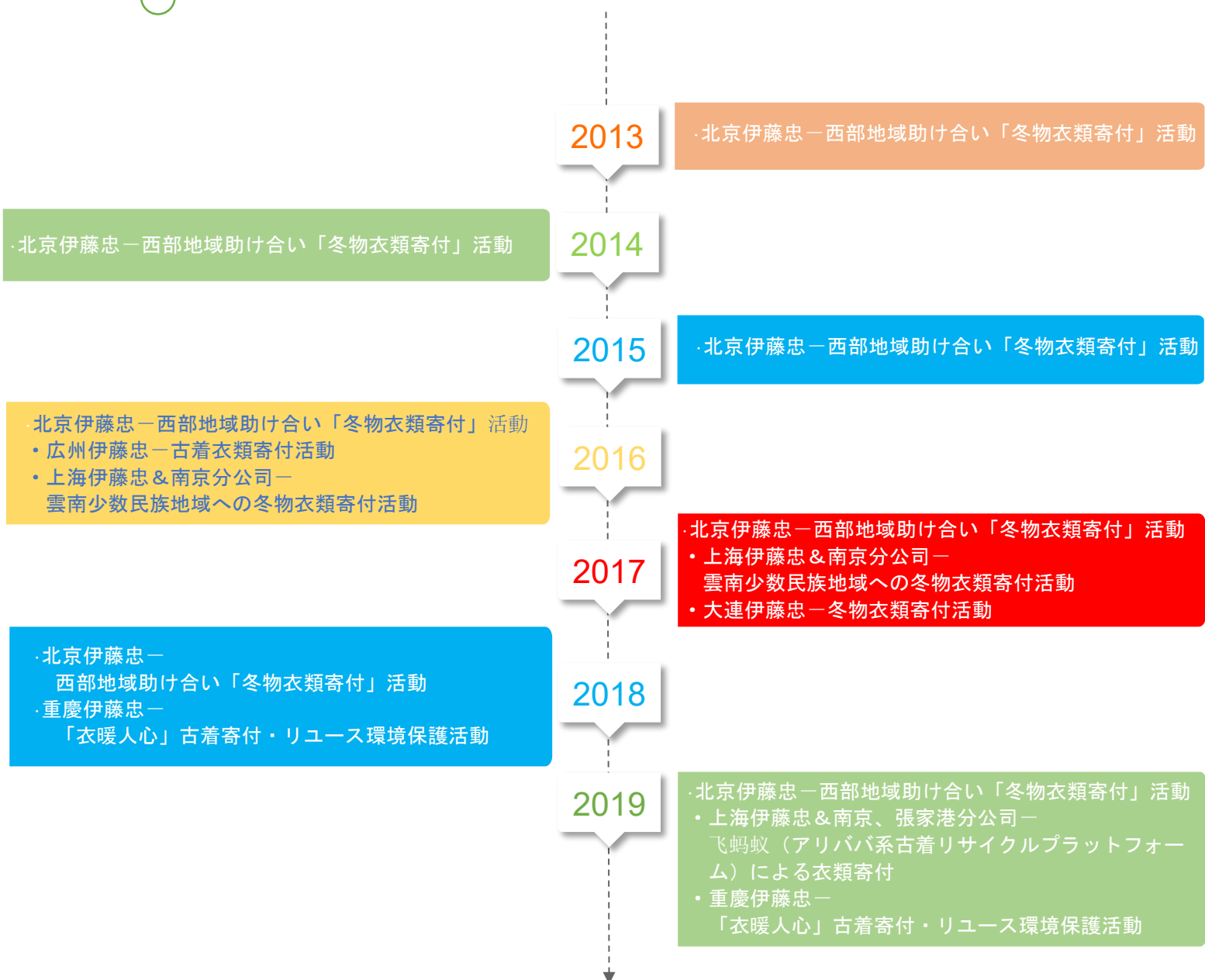
【環境保全】青島伊藤忠一嶗山区北九水でのゴミ清掃

「地球に優しい環境保全、健康的な暮らし」という理念を実現するため、2019年9月28日、青島伊藤忠の社員29名が週末を利用し、嶗山区の北九水にて、「白色ゴミ一掃、環境衛生を守ろう」活動を実施しました（白色ゴミ：自然分解しないポリ袋や発泡スチロールのケースなど）。活動当日、参加者は北九水付近の観光エリアに集まり、強烈な日差しを物ともせず、白色ゴミの清掃を始めました。麓から山頂へ向かう途中で、山道に散乱したポリ袋や吸い殻、紙くずなどを拾ってゴミ袋に入れると同時に、周りの観光客にも本活動への参加を呼び掛けました。我々の声掛けにより、多くの観光客までもがゴミ拾い活動に加わり、北九水の環境をより衛生的にすることができました。今回の活動で、北九水地域の周辺環境の美化だけでなく、一般の人々にも環境保護の意識を持ってもらうことができ、伊藤忠の企業文化を周囲にアピールできた活動であったと思います。



【地域貢献】衣類寄付チャリティー活動

伊藤忠中国の衣類寄付チャリティー活動は2013年に北京伊藤忠で始まり、2019年で7年目を迎えました。社員同士でリユース・リサイクルの大切さを共有し、環境保全に対する意識を高めるとともに、貧困層への一助になることを踏まえ、積極的に本活動に参加してきました。



【地域貢献】北京伊藤忠—西部地域助け合い「冬物衣類寄付」活動



2019年10月初旬、北京伊藤忠は、本寄付活動を継続して実施することの重要性を踏まえ、本年度も冬物衣類寄付活動を実施しました。今回も例年以上に多くの社員に関心を持ってもらい、合計31名の社員から計500枚以上にのぼる衣類を提供してもらいました。本活動を運営する「西部地域助け合い」基金会は、北京伊藤忠を訪問、毎年多くの衣類を寄付してくれることへ感謝し、寄付された衣類を受け取った後、受領証明書を授与しました。最後に総経理及び社員たちと一緒に記念撮影を行いました。

北京伊藤忠は「西部地域助け合い」活動に参画して既に7年目を迎えますが、リユース・リサイクルの大切さ、地域貢献への関心を持ちながら、毎年積極的に本活動に参加してきました。参加する社員はみな、自身の寄付活動がほんの僅かなものであったとしても、継続することにより環境保全・地域貢献の役に立つと実感しています。北京伊藤忠は本活動を今後も継続していく所存です。



【地域貢献】上海伊藤忠&南京分公司、張家港分公司— 「飞蚂蚁」を利用した衣類寄付



2019年、上海伊藤忠及び南京分公司、張家港分公司は「飞蚂蚁」プラットフォームを通じて、共同で古着寄付活動に参加しました。社員から寄付された衣類は分類され、再利用できる衣類はクリーニングと消毒の後にチャリティー団体へ送られ、その後貧困地域に寄付されました。再利用の基準を満たさない衣類は、リサイクル加工センターに送られ、リサイクル加工されました。本寄付活動には多くの社員が関心を寄せられました。案内した直後から、多くの社員が自宅にある古着を整理して会社に持参してきました。また衣類の整理梱包作業のためにボランティアとして参加する社員もいました。本活動を通じて、社員同士で改めて環境保全に対する意識を高め合うとともに、貧困地域の支援による地域貢献を実現できたと思います。今後も同寄付活動を継続していく予定です。



【地域貢献】重慶伊藤忠—「衣暖人心」古着・寄付リユース環境活動活動



2019年11月、重慶伊藤忠は「聚愛公益・重慶市希望之光社会事業センター」の主催で、古着の寄付及びリユース・環境保護チャリティーに参加しました。社員から集められた100枚以上の古着を、「聚愛公益」団体に寄付し、再利用できる衣服は、殺菌消毒後に貧困地域に方々に送られました。再利用の条件を満たさない衣服は、綿製の衣類はモップ類などの生活用品に再加工され、無料で老人介護施設や児童福祉施設に提供されました。重慶伊藤忠には5名の社員が勤務していますが、5名ともに本寄付活動に高い関心を示し、環境保全意識を高め合うとともに、西部の山間部貧困地域の貢献に資することも理解し、積極的に本活動に参加しました。今後も本活動を継続し、支援していく予定です。





【地域貢献】香港伊藤忠—「Food Carnival 2019」貧困者支援チャリティー

香港伊藤忠は2019年「Food Carnival 2019」活動に参加しました。本活動は、走ることで消費したカロリーを食物に換算して、低所得世帯をはじめ、食料援助を必要とする人々に寄付するというものです。香港伊藤忠の社員たち「ITOCHU」ロゴの印字された専用の青のユニフォームを着て、それぞれ個人の部及び団体10キロの部に参加しました。今回の活動は、走ることによる社員の健康増進、また社員みんなで一つの目標を成し遂げるというチームワークの精神を発揮するのみならず、飢餓に苦しむ人々を支援するという意義深い活動になりました。

